
TIME-CHAIN

黒霧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

TIME - CHAIN

【Nコード】

N9507D

【作者名】

黒霧

【あらすじ】

教会で育った少年の話です。まあ、その少年がいろいろなことに触れて育っていく姿を描いています。教会の神父になることを目指し、同時にエクソシストになる。まあ、この先は本編をみて面白いか面白くないかは自分で判断してください。

The cross・プロローグ

今日もまた、この教会の中庭に白くまぶしい鳥たちがいる。でも鳥たちはこの場所に留まることなく別のところへ飛び立っていく。空に浮かぶ雲も止まることなく流れていく。

世界もうごいている。

でも僕はうごかない…。僕はずっとこの教会に留まっている。この大きな十字架を掲げる教会に…

だから僕は、あまり外の世界は見たことがない。

この教会は、それなりに大きい。でも、世界から見ればちっぽけな存在。

そして僕も、ちっぽけな存在…。

「ラウ。昼食の用意ができましたよ。席に着いてないのはあなただけです。」

背後から声がした。とても透き通った優しい声。僕が振り返ると神父さまがにこやかな笑みで僕を見ている。

どうしたらあんなに笑えるのか、僕にはわからない。神父さまの白い衣服のせいで、笑顔が余計にまぶしい…

「何ばーっとしてるんですか！早く中に入りますよ！」

突っ立っている僕の頭に神父さまが、ぽんつと優しく手を置いた。大きくとても優しい手。ぼくはこの手が好きだ。

「僕、お腹すいてない」

「また嘘をつくんですか？本当はすいているでしょう？」

神父さまは何をいうときも笑顔のままだ。

「別に……。」

僕が短く返事をする、神父さまは小さくため息を吐いた。嗚呼、呆れているのか。

「ねえ、ファザー。そんなに笑ってて疲れないわけ？」

神父さまは、少し驚いた表情をつくった。

本当にこの人は、表情豊かな人だ。きっと神様も味方してるんだろ。うらやましい…。

「笑っていて疲れたことなんて一度もありませんよ。むしろ、私には笑ってないときのほうが疲れますよ。さあ、早く中に入りましょう。せつかくの料理が冷めてしまう。」

ファーザー 神父さまは一度僕を見て、にこっと笑ってから歩き出した。でも僕が歩いていないことに気づくと、くるっと振り返って、

「早くしなさい！」

と、腰にてをあてながら言った。そして僕のところまで早足で戻って来ると、突然僕を担ぎあげて歩き始めた。

「おや？今日はやたらと大人しいですね？」

「ファーザーに担ぎあげられたら、何をしても逃げられないからね……。」

「フフフ……よくわかってますね。」

「まあね……。」

こういう時に、ファーザー 神父さまの黒い笑みはこぼれる…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9507d/>

TIME-CHAIN

2010年10月10日23時30分発行